



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場会社名 株式会社 クワザワ
 コード番号 8104 URL <http://www.kuwazawa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 三田 久郎 TEL 011-864-1112
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	64,598	1.2	931	9.3	1,024	12.6	1,142	△8.4
24年3月期第3四半期	63,856	12.6	851	172.0	909	139.1	1,247	355.3

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 1,195百万円 (△4.4%) 24年3月期第3四半期 1,250百万円 (358.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	138.55	—	
24年3月期第3四半期	150.26	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
25年3月期第3四半期	39,496		9,788		23.3	
24年3月期	33,240		9,112		24.4	

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 9,204百万円 24年3月期 8,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	7.00	7.00
25年3月期(予想)				7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	86,000	0.4	820	1.2	870	0.3	1,050	0.9	127.36	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	8,347,248 株	24年3月期	8,347,248 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	102,939 株	24年3月期	94,114 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	8,247,594 株	24年3月期3Q	8,300,718 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景とした持ち直しの動きが見られたものの、欧州における金融危機や新興国の経済成長の鈍化などから景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、復興需要や政府の住宅取得促進施策等の効果により、新設住宅着工戸数が前年同期を上回るなど堅調に推移いたしました。

このような環境において、当社グループでは、東日本大震災被災地の地域再生に向け復旧関連資材などの需要に積極的に対応しました。また、需要拡大の見込まれる太陽光発電や創エネ・省エネ関連商品の取組みを強化いたしました。さらに、顧客獲得と販売シェアの拡大に努め、需要の掘り起こしに向けた営業力の強化と施工体制の拡充により利益確保を図りました。

この結果、当第3四半期の業績は、昨年期中に株式会社ニッケーと株式会社サツイチを子会社化したことおよび大型物件の完工などから売上高が645億98百万円（前年同期比101.2%）、営業利益は9億31百万円（前年同期比109.3%）、経常利益は10億24百万円（前年同期比112.6%）となりましたが、税金費用が増加したため四半期純利益は11億42百万円（前年同期比91.6%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建設資材

民間の建築需要が底堅く推移したものの、公共投資の落ち込みもあり、売上高は414億92百万円（前年同期比99.3%）となりましたが、利益率の改善からセグメント利益は8億51百万円（前年同期比104.8%）となりました。

建設工事

震災後の需要が落ち着いたものの、大型物件の完工等により、売上高は157億30百万円（前年同期比105.6%）となり、セグメント利益は3億20百万円（前年同期比120.9%）となりました。

石油製品

販売数量の減少により、売上高は46億63百万円（前年同期比93.7%）となり、セグメント利益は13百万円（前年同期比41.0%）となりました。

資材運送

株式会社サツイチの子会社化もあり、売上高は24億65百万円（前年同期比124.0%）となりセグメント利益は2億29百万円（前年同期比117.2%）となりました。

その他

子会社化した株式会社ニッケーの不動産賃貸事業が加わったことなどから、売上高は2億45百万円（前年同期比111.9%）、セグメント利益は97百万円（前年同期比172.2%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比62億56百万円増加して394億96百万円(前連結会計年度末比118.8%)となりました。流動資産は同62億53百万円増加して318億59百万円、固定資産は同2百万円増加して76億36百万円となりました。流動資産の増加の主なものは、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同66百万円増加して53億37百万円となりました。無形固定資産は、わずかながら減少して1億72百万円となりました。投資その他の資産は、同62百万円減少して21億27百万円となりました。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比55億80百万円増加して297億8百万円(前連結会計年度末比123.1%)となりました。流動負債は、同61億60百万円増加して270億25百万円、固定負債は同5億79百万円減少して26億82百万円となりました。流動負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。固定負債の減少の主なものは、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比6億75百万円増加して97億88百万円(前連結会計年度末比107.4%)となりました。この増加の主なものは、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の24.4%から23.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月13日に公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,747	3,591
受取手形及び売掛金	18,094	22,052
商品及び製品	508	519
販売用不動産	1,651	1,539
未成工事支出金	1,253	3,769
原材料及び貯蔵品	25	24
その他	387	422
貸倒引当金	△60	△59
流動資産合計	25,606	31,859
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,509	3,553
その他（純額）	1,761	1,784
有形固定資産合計	5,270	5,337
無形固定資産	173	172
投資その他の資産		
その他	2,535	2,408
貸倒引当金	△345	△280
投資その他の資産合計	2,190	2,127
固定資産合計	7,634	7,636
資産合計	33,240	39,496
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,726	22,181
短期借入金	630	680
1年内返済予定の長期借入金	819	757
未払法人税等	83	222
賞与引当金	204	65
工事損失引当金	5	29
完成工事補償引当金	43	33
災害損失引当金	7	7
その他	1,344	3,049
流動負債合計	20,864	27,025
固定負債		
長期借入金	1,766	1,315
退職給付引当金	319	249
負ののれん	7	5
資産除去債務	18	18
その他	1,152	1,094
固定負債合計	3,262	2,682
負債合計	24,127	29,708

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	318	318
利益剰余金	7,344	8,429
自己株式	△21	△22
株主資本合計	8,059	9,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64	60
その他の包括利益累計額合計	64	60
少数株主持分	988	584
純資産合計	9,112	9,788
負債純資産合計	33,240	39,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	63,856	64,598
売上原価	58,730	59,248
売上総利益	5,125	5,350
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	2,173	2,269
その他	2,100	2,149
販売費及び一般管理費合計	4,274	4,419
営業利益	851	931
営業外収益		
受取利息	27	24
受取配当金	16	14
負ののれん償却額	2	2
持分法による投資利益	8	7
雑収入	125	136
営業外収益合計	180	186
営業外費用		
支払利息	74	62
債権売却損	30	19
雑損失	17	10
営業外費用合計	122	92
経常利益	909	1,024
特別利益		
固定資産売却益	2	7
負ののれん発生益	505	442
訴訟損失引当金戻入額	2	—
特別利益合計	510	449
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産除却損	6	0
投資有価証券評価損	—	1
特別損失合計	8	1
税金等調整前四半期純利益	1,412	1,472
法人税等	128	271
少数株主損益調整前四半期純利益	1,283	1,200
少数株主利益	36	57
四半期純利益	1,247	1,142

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,283	1,200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	△4
その他の包括利益合計	△33	△4
四半期包括利益	1,250	1,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,214	1,138
少数株主に係る四半期包括利益	35	57

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	41,773	14,899	4,975	1,989	63,637	219	63,856	—	63,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,303	301	89	351	2,045	37	2,082	△2,082	—
計	43,076	15,201	5,064	2,340	65,682	256	65,939	△2,082	63,856
セグメント利益	812	264	33	195	1,305	56	1,361	△510	851

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△510百万円には、セグメント間取引消去25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△536百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「建設資材」セグメントにおいて、株式会社ニッケーの株式を新たに取得したことに伴い、また、「資材運送」セグメントにおいて、株式会社サツイチの株式を新たに取得したことに伴い負ののれん発生益を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「建設資材」1億81百万円および「資材運送」3億23百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	41,492	15,730	4,663	2,465	64,352	245	64,598	—	64,598
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,104	377	92	357	1,932	41	1,973	△1,973	—
計	42,597	16,107	4,756	2,823	66,285	286	66,571	△1,973	64,598
セグメント利益	851	320	13	229	1,414	97	1,511	△580	931

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△580百万円には、セグメント間取引消去36百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△616百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「建設工事」セグメントにおいて、株式会社クワザワ工業の株式を追加取得したことに伴い、負ののれん発生益を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「建設工事」4億42百万円であります。